
1 0 0m自由型

聖魔光闇

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

100m自由型

【Nコード】

N0640V

【作者名】

聖魔光闇

【あらすじ】

目指すのはゴールのみ。敵は己自身。

(前書き)

深く息を吸い込み……。

プールサイドに立ち、今から飛び込む水面を、とりあえず眺める。その行為に意味はない。

けれども、水面を眺める。揺れる水に心を同化させ、飛び込むポイントから、対面のサイドまでゆっくりと見流していく。

イメトレの様にも見えるこの行為。

でも本当は、静かな精神統一。

（ピーー！！）

スタート前のホイッスルが鳴る。

飛び込み台に上り、次の合図を待つ。

簡易的な、準備運動をしてから、つま先を指先で触るように、飛び込み姿勢に入る。

ほどよい間を置いてから、（ピーー！！）とスタートホイッスルが鳴り響く。

他人は気にしない。自分の本当の敵は、己の中にいるのだから。

ホイッスルと同時に飛び込み、プールの底を、ドルフィンキックで、スピードアップしながら、ゆっくり浮上する。

水面に出たと同時に、プルとキックを規則正しく行い、最初の50mは息つき無しで泳ぎきる。

対面サイドで、息つぎをせずに水中でターンすると、サイドの壁を力いっぱい蹴り、少し伸びた後、またドルフィンキックでスピードアップしながら、ゆっくり浮上する。

水面に出ると、ここで最初で最後の息つぎを行い、ラスト35mをダッシュで泳ぎきる。

息つぎは、スピードダウンに繋がる為、絶対我慢。息が苦しくなってくると、ゴールすれば息が出来ると自分に言い聞かせる。

そしてそのまま、ゴールまで一直線に泳ぐ。

結果は、12人中3位。

『まだまだだな……』

そんなキザな事を考えていても、笑みは隠せなかった。

(後書き)

上には上がいる。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0640v/>

100m自由型

2011年10月8日00時39分発行